「て」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「て」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 14

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「て」で始まる語彙辞典（メジャー）

て - あい【手合（い）】
① 連中。やつら。やや軽蔑していう。「ああいう―とは付き合いたくない」
② たぐい。種類。「この―の品は売れない」

手垢（てあか）が付（つ）・く
使い古される。新鮮みがなくなる。「―・いた表現」

てい - けん【定見】
他人の意見に左右されない、その人自身の意見。一定の見識。「―をもつ」「無―」

てい - げん【逓減】
［名］（スル）
数量がしだいにへること。また、しだいにへらすこと。漸減（ぜんげん）。「収穫量が―する」「生産率を―する」⇔逓増。

てい - げん【提言】
［名］（スル）
自分の考えや意見を出すこと。また、その考えや意見。「改正案を―する」

ていさい - ぶ・る【体裁振る】
［動ラ五（四）］
外見がよく見えるようにする。みえをはる。また、えらそうに見せかける。もったいぶる。「―・った進物」「―・ったものの言い方」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

てい - しゅく【貞淑】
［名・形動］
女性の操がかたく、しとやかなこと。また、そのさま。「―な生涯」

てい - しん【挺身】
［名］（スル）
率先して身を投げ出し、困難な物事にあたること。「反戦運動に―する」

てい - せつ【貞節】
［名・形動］
女性が夫以外の男性に身や心を許さないこと。また、そのさま。「―を守る」「―な婦人」

てい - ぞう【逓増】
［名］（スル）
数量がしだいに増えること。「売り上げが年々―する」⇔逓減。

てい - ちょう【低調】
［名・形動］
① 内容の水準が低いこと。また、そのさま。「―な応募作品」
② 調子が出なくて、気勢が上がらないこと。盛り上がりに欠けること。また、そのさま。「売れ行きが―だ」「―な試合はこび」

てい - ど【低度】
物事の程度が低いこと。「―の発達にとどまる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

てい - めい【低迷】
［名］（スル）
① 低くただようこと。「暗雲―」
② よくない状態から抜け出せないでいること。「売り上げが―する」「最下位に―する」

てい - れつ【低劣】
［名・形動］
程度が低く、内容などが悪いこと。人格・品性などが劣っていること。また、そのさま。「―な書物」「―な趣味」

てい - れん【低廉】
［名・形動］
金額が安いこと。また、そのさま。「―な価格」「―な賃金」

手(て)が空(あ)・く
仕事が一段落するなどして暇ができる。「―・いたら手伝ってくれ」

て - がい【手飼い】
生き物を自分で世話して飼うこと。また、その生き物。「―の猫」

てがら - がお【手柄顔】
手柄を自慢する顔つき。ほこりがお。「―をする」「―に話す」

てき - えい【敵営】
敵の陣営。「―を攻める」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

てき - えい【敵影】
敵のすがた。「―を認める」

てき - かく【適格】
［名・形動］
資格にかなっていること。必要な資格を十分に備えていること。また、そのさま。「会長として―な人物」「―者」⇔欠格。

てきがい - しん【敵愾心】
敵に対して抱く憤りや、争おうとする意気込み。「―を燃やす」

てき - ひ【適否】
適することと、適さないこと。また、適するか、適さないか。適不適。「事の―を問う」

手心(てごころ)を加・える
手加減をする。寛大に扱う。「採点に―・える」「処分に―・える」

て - ずから【手ずから】
［副］
直接自分の手で。自分で手を下して。「会長が―賞状を授与する」

て - ずれ【手擦れ】
［名］(スル)
何度も手が触れたためにすれて傷むこと。また、その箇所。「―した表紙」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

て - ず・れる【手擦れる】
［動ラ下一］
何度も手が触れたために、その部分がすれて傷む。「取っ手の―・れた古いかばん」

てっけん - せいさい【鉄拳制裁】
げんこつで殴ってこらしめること。「―を加える」

鉄鎚(てっつい)を下(くだ)・す
厳しい制裁を加える。「汚職議員に―・す」

轍(てつ)を踏・む
前人の犯した失敗を繰り返すたとえ。「前任者の―・まぬようにする」

て - なぐさみ【手慰み】
手先で物をもてあそぶこと。てすさび。「―に書を習う」

手(て)に手を取・る
互いに手を取る。特に、相愛の男女が行動をともにする。「―・ってかけおちする」

弖爾乎波(てにをは)が合わ◦ない
助詞・助動詞が正しく使われていない。言葉の用法がおかしい。文脈が整わない。また、話のつじつまが合わない。弖爾波が合わない。「―◦ない文章」「―◦ない議論」

手(て)の内(うち)に丸め込・む
ごまかしたりだましたりして、思うとおりに従わせる。「巧みな話術で―・む」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

て - びょうし【手拍子】
① 手を打ち鳴らして拍子をとること。また、その拍子。「曲に合わせて―をとる」
② 囲碁・将棋などで、相手の手につられて、よく考えずに着手してしまうこと。「―で打つ」

てまえ - がって【手前勝手】
［名・形動］
自分の都合のよいようにばかり考えたり行動したりすること。また、そのさま。自分勝手。「そんな―な意見は通らない」

てまち - じかん【手待ち時間】
勤務時間でありながら、する仕事がなくて仕事がくるのを待っている時間。

て - まね【手真似】
手を動かして物事のようすをまねること。「―で知らせる」

てら・う【衒う】
［動ワ五（ハ四）］
自分の学識・才能・行為などを誇って、言葉や行動にちらつかせる。ひけらかす。「才を―・う」「奇を―・う」

てり - は・える【照（り）映える】
［動ア下一］［文］てりは・ゆ［ヤ下二］
光を受けて美しく輝く。光が物にあたって輝いて見える。「夕日に紅葉が―・える」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

てりふり - なし【照（り）降り無し】
晴天・雨天に影響されないこと。また、周囲の状況にかかわりなく、確実であること。「―に客が入る」

てり - わた・る【照（り）渡る】
［動ラ五（四）］
光がすみずみまで照る。光が一面に照る。「満月が耿々（こうこう）と―・る」

てれ - しょう【照れ性】
［名・形動］
ちょっとしたことにも照れる性分であること。また、そのさま。「―な（の）人」

手（て）を空（あ）・ける
仕事の予定などを入れないでおく。「頼みがあるから―・けておいてくれ」

手（て）を替え品（しな）を替え
さまざまに方法・手段をかえて。「―子供の機嫌をとる」

手（て）を突・く
敬礼・謝罪・懇願などの気持ちを表すために、両手を地につける。「―・いて謝る」

手（て）を濡（ぬ）らさず
そのことに少しも骨を折らないさま。「―利ざやを稼ぐ」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

手(て)を揉(も)・む
もみ手をする。懇願や謝罪をするときの動作にいう。「―・んで愛想笑いを浮かべる」

てんい - むほう【天衣無縫】
［名・形動］《「霊怪録」による》
① 天人の衣服には縫い目のあとがないこと。転じて、詩や文章などに、技巧のあとが見えず自然であって、しかも完全無欠で美しいこと。また、そのさま。「―な (の) 傑作」
② 天真爛漫(てんしんらんまん)なこと。また、そのさま。「―に振る舞う」

てん - えん【展延】
［名］(スル)
薄く広げのばすこと。また、広がりのびること。「金(きん)を―する」「―性」

てん - がん【点眼】
［名］(スル)
目に薬液をたらすこと。「朝晩二回―する」「―薬」

てん - きょ【転居】
［名］(スル)
住居をかえること。引っ越し。転宅。「郊外に―する」「―通知」

てん - けい【天啓】
天の啓示。天の導き。神の教え。「―にうたれる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

てん - こ【点呼】
［名］（スル）
一人一人の名を呼んで、全員いるかどうかを確かめること。「―をとる」「従業員を―する」

てん - しゅつ【点出】
［名］（スル）
画面に目立つように描き出すこと。目立つように現し示すこと。「湖岸風景に洋風の家を―する」

てん - しゅつ【転出】
［名］（スル）
① 今までの居住地を出て他の土地に移ること。「他県へ―する」「―届」⇔転入。
② 他の職場へ移ること。「子会社へ―する」

てん - しん【転進】
［名］（スル）
方向を変えて進むこと。進路を変えること。「航路を北西へ―する」

てん - じょう【転乗】
［名］（スル）
他の乗り物に乗りかえること。「本船からはしけに―する」

てん - せい【天成】
① 自然の力でできあがっていること。「―の要害」
② 生まれつき。「―の詩才」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

てん - ぜん【恬然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
物事にこだわらず平然としているさま。「―とした態度」

天(てん)の配剤(はいざい)
善には善果、悪には天罰というように、天は物事を適切に配するということ。

てん - ぴん【天稟】
生まれつきの才能。天性。てんりん。「―を発揮する」「―の画才」

てん - ぷ【天賦】
天から賦与されたもの。生まれつきの資質。「―の才能」「運否(うんぷ)―」

てん - れい【典麗】
［名・形動］
きちんと整っていて美しいこと。また、そのさま。「―な姿」

天(てん)を焦が・す
火災などの炎が盛んに空に向かって立ちのぼるようすを形容する言葉。

天(てん)を衝(つ)・く
天に届くほど高い。また、勢いの盛んなことにいう。「―・く摩天楼」「意気―・く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　　↓　　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.